

こんにちは NPO法人 幸まちづくり研究会(通称：まちけん)です

活動紹介：**みんなで育てよう！体験の森・応援しよう！水源の森の再生**

ホームページ：<http://machiken.grupo.jp/>



1. ドングリポット苗と植樹の話

幸まちづくり研究会は、公園でドングリのポット苗を作り、3年間育て、水源地の森林へ植樹しています。そして、水源地域と様々な交流をしています。どうしてこのような活動をしているのか・・・



荒廃した森

都市と水源地をつなぐ “ドングリそだて隊”

山や森の自然が「毎日飲む水」や「多くの生き物」のために働いています。でも、昔の人たちが一生けん命育てた森林は、今、手入れをする人が減り、荒れたままの森林がたくさんあります。暗くて、動植物がすめなくなり、最近の大型台風などで土砂崩れや洪水を起こしています。

私たち生き物は、「水」が無くては生きられないですね。おいしいお水や、異常気象や、地球に住んでいる生き物たち、みんなのために、「森林」を大切にしなければいけません。

私たちができることは、水源地域とつながり豊かな森づくりをすることです。



山北町土砂崩れ

ドングリの苗は広葉樹で、ぐんぐんと根を張り、山を強くしてくれます。植樹することで、少しでも応援したいと思います。

元気な森林になあれ

■調べてみよう [林野庁/飲んでるお水って](https://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/kouhousitu/attach/pdf/manga-2.pdf)

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/kouhousitu/attach/pdf/manga-2.pdf>



新川崎ふれあい公園のポット苗



山北町 三保ダム

2. 地球温暖化と森林の関係

空気中の二酸化炭素が増えすぎて、地球全体がどんどん暑くなっています。

実は、樹木は二酸化炭素を吸って、酸素を吐き出し、
吸った二酸化炭素は木の中にため込みます。

森林はたくさんの「二酸化炭素」をため込むことができ、
地球が暑くなりすぎるのを防いでくれます。

植樹した苗木は、大きくなるために、
たくさん二酸化炭素を吸って酸素を吐き出します。

大きく育った樹木は、だんだん酸素を吐き出さなくなりますが、
木をきって木材にして、家や家具などを作っても、
二酸化炭素を貯めたままなのです。

「木を使って 地球温暖化を食い止める」・・・

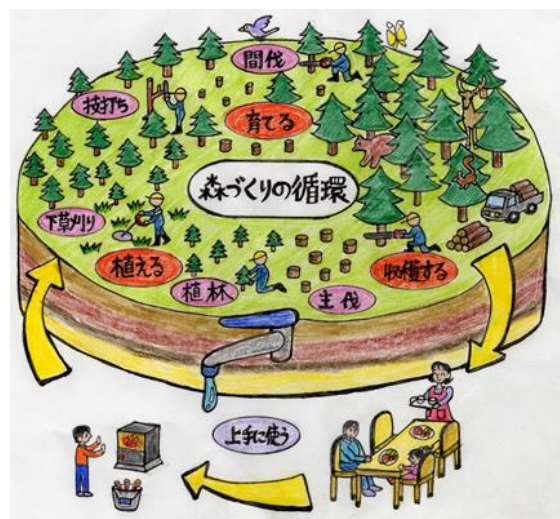
苗を植える⇒手入れする⇒収穫する⇒使う

この森づくりの循環がポイントです。

大きくなった“木”を適度にきって、
木材にして“木を使う”ことで、
さらに地球温暖化を食い止めることができます。

きった“木”を無駄にしないことが大事！

きった“木”を使い、水源の森を元気にしたい！



■調べてみよう 林野庁/もりのはたらき

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/kouhousitu/attach/pdf/manga-1.pdf>

みんなが日本の木材を使うことで森も元気を取り戻し、
自然豊かな森になっていきます。

■林野庁ホームページ

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/kouhousitu/manga.html>

まんがで詳しく森林のお話が出ています。

興味ある方は調べてみてね！



伐り時を迎えた樹木



木材